

- 収益は、突き詰めると「販売料」「使用料」「サブスクリプション料」「レンタル/リース料」「ライセンス料」に分けられる。

#	収益種別	概要	具体例
1	販売料	(資産価値のある) 製品の所有権の売却して収益を得る	Amazon.com : 本や音楽、家電製品などをオンラインで販売している。
			フィアット : 自動車を販売し、購入した人は運転はもちろん、転売したり破壊する権利すらある。
2	使用料	サービスの利用に対して収益を得る サービスが利用されればされるほど、収益が増える	電話会社 : 通話時間に対して請求する。
			ホテル : 何泊宿泊したかによって、そして運送会社は荷物を運ぶ個数に応じて請求する。
3	サブスクリプション料	継続的なサービスの提供により収益を得る	フィットネス : エクササイズのマシーンを、月会費や年会費を支払って利用する。
			オンラインゲーム World of Warcraft : 月額費用を支払ってゲームを楽しむことができる。
			ノキアの Comes with Music サービス : 音楽ライブラリーにアクセスするために購読料を支払う。
4	レンタル/リース料	資産を一時的に専有する権利に対して収益を得る 貸し手は、同じ資産で繰り返し収益をあげられるメリットがあり、借り手は限られた負担で済むというメリットがある	Zipcar.com : クルマを時間単位で借りることができる。顧客は買うより借りた方が良いと判断している。
5	ライセンス料	知的財産を利用させることにより収益を得る 製品を製造したり、サービスを商品化しなくても、資産から収益を得ることができる	メディア産業 : コンテンツ所有者は著作権を保持しながら、第三者にライセンス使用させている。
			テクノロジー産業 : 特許保有者は、他の企業に特許で守られた技術の使用を許可することで、ライセンス料を受け取っている。